

令和4年度 2月校長会 教育長講話 要約

◆ はじめに

今年度は、再任用の校長先生方を含め、小学校6名、中学校3名、高等学校1名の、合わせて10名の校長先生が退職されます。これまで長きにわたり、本市の教育にご尽力いただいたことに、心から感謝します。

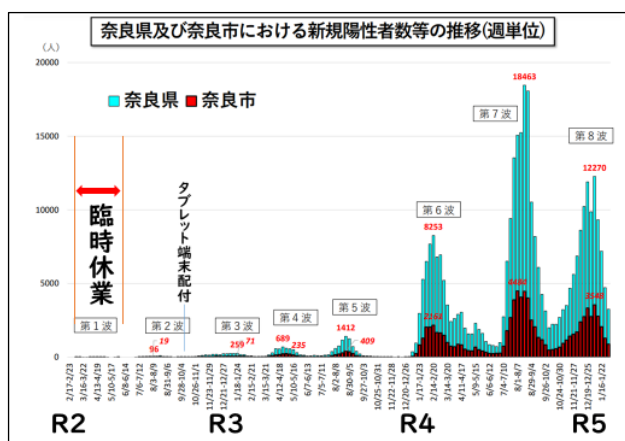
退職される先生方は、4月から、それぞれの道で、第2の人生を歩まれることと思います。ご縁があり、また奈良市の教育にかかわっていただけることがございましたら、本市の子どもたちのために、これからもよろしく願います。

そして、まだ1か月余り残っておりますが、この奈良市で教員として・管理職として培ってこられたことを、学校の皆さんや後進の校長先生方にしっかりと伝えてください

◆ コロナウイルス感染症

新型コロナウイルス感染症については、いわゆる第8波もピークを越え、感染者数も減少してきています。国では、5月8日に感染症の分類を2類から5類に引き下げられることが決まり、報道にもあるように、今後、学校行事の実施やマスクの着用などについて、これまでの対応を変えていくこととなります。

一方で、マスク着用が緩和されたとしても、マスクを外すことに不安を感じる子どもたちがいることも想定されます。子どもたちにとっては、これまでの生活様式を見直していくこととなりますので、教職員間でしっかりと共通理解を図り、スムーズに移行できるよう、子どもや保護者への周知とともに、子どもたちの生活を見守る体制づくりをお願いします。



また、感染症対応が緩和されても、「3年前の学校に戻る」ということではありません。コロナ禍の3年間は、これまで当たり前のようにやってきたことを、改めて見直す機会ともなりました。

校長先生方のリーダーシップのもと、子どもにとって本当に必要なことは何か、学校の取組が時代に合っているか、教師の自己満足に終わっていないかなど、引き続き学校の当たり前を見直し、3年前に戻るのではなく、新しい学校をつくりだしてください。

コロナ禍の3年間は、小・中・高等学校のどの学年の子どもにとっても、学校生活の様々な場面に制約があり、この春卒業する中・高の3年生にとっては、臨時休業の中で新しい学校生活が始まり、学校生活のすべてがコロナ禍の活動でした。小学6年生においても、小学校生活の半分がコロナ禍の活動ということで、大変なことも多かったと思います。

しかし、そうした状況においても、子どもたちは、しっかりと前を向いて、今できることを熱心に取り組んでくれていたのではないかと思います。ぜひ、校長先生方から、直接、この春卒業する子どもたちに、この3年間の頑張りを伝える機会をつくってください。

◆ 世界遺産全国サミット

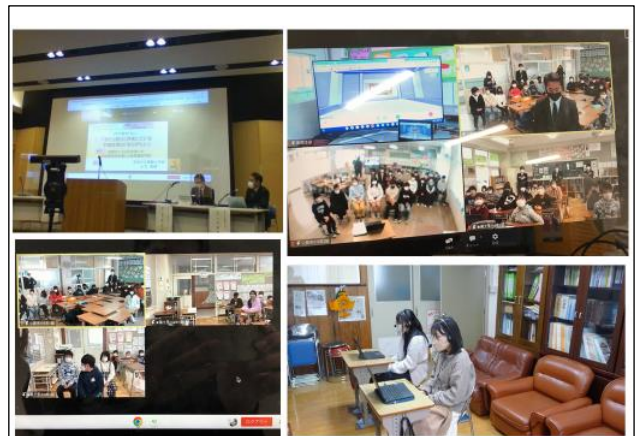
先日（2月3日・4日）、第13回世界遺産学習全国サミットを本市で開催しました。

今回は、辰市小学校と群馬県の小学校とのオンライン交流の様子をオンラインで公開したり、様々な年齢・所属の参加者が意見交換を行う交流会など、これまでのない新たな取組にチャレンジしました。全国各地の多くの人に、負担なく参加いただくことができたのではないかと思います。

サミット2日目の意見交流会では、田原小中学校の生徒や和歌山県田辺市の小学校の先生、NHKの職員の方々と意見を交わしました。

交流の中で、田原小中学校の7年生の生徒が、「地域に残る歴史的なものや伝統的なものを守り継いでいくことの難しさを見て見ぬふりするのではなく、皆で協力して解決に向けて行動に移すことが大切だ」さらに、「いろいろな立場の人が意見を出していく中で自分の中になかった意見を知ることができた」と語ってくれました。限られた時間でしたが、まさに、人との出会いの中で自らの価値観を変容させる瞬間でした。

この生徒の姿から、子どもたちが人との出会いや経験により成長していくのだと改めて気づきました。そして、そのような機会を作り出すのが教育の役割なのだと改めて感じました。オンラインでの交流にとどまらず、メタバースを活用した取組が進むなど、新しい学びの可能性を感じる2日間でした。



◆ 志をつなぐ、志を紡ぐ

最後になります。先生方もご存じのとおり、来年度から、定年が1年延長されます。これは、令和4年度からの国家公務員の定年引上げに伴い、地方公務員の定年も60歳から65歳まで2年に1歳ずつ段階的に引き上げられることを踏まえたものです。

各学校においても定年延長を踏まえ、長期的な視野に立った体制づくりを進めていただくようお願いします。

これから年度末にかけて、各学校では先生方との面談も行われるかと思えます。一人一人の先生方の将来像についても、定年延長を踏まえた話ができるよう、あわせてお願いします。

定年延長に関わる表

原則 定年年齢	年 度	職 員 の 生 年					
		昭和37年度	昭和38年度	昭和39年度	昭和40年度	昭和41年度	昭和42年度
60歳	令和4年度	60歳	59歳	58歳	57歳	56歳	55歳
61歳	令和5年度	61歳 (普通任用)	60歳	59歳	58歳	57歳	56歳
	令和6年度		61歳	60歳	59歳	58歳	57歳
62歳	令和7年度	62歳 (65歳)		61歳	60歳	59歳	58歳
	令和8年度		62歳	61歳	60歳	59歳	
63歳	令和9年度	63歳 (65歳)			62歳	61歳	60歳
	令和10年度			(65歳)	63歳	62歳	61歳
64歳	令和11年度	64歳 (65歳)		(65歳)		63歳	62歳
	令和12年度				(65歳)	64歳	63歳
65歳	令和13年度	65歳 (65歳)				(65歳)	64歳
	令和14年度						65歳

今年度最後の校長会となりますので、この場をお借りして、皆さんに一年のお礼を申し上げ、わたしの話は終わります。

来年度も校長として学校の舵を握っていただく先生方につきましては、大きく変化していく時代の中で、子どもたちの学びを止めることなく、引き続き、ウェルビーイングな取組となるよう、お願いします。

一年間ありがとうございました。

